

龍谷大学 データサイエンス・AI 教育プログラム

2023 年度

「データサイエンス・AI リテラシープログラム」

自己点検・評価報告書

データサイエンス教育プログラム運営委員会  
2026 年 3 月 30 日

## 2023 年度「データサイエンス・AI リテラシープログラム」自己点検・評価報告書

データサイエンス教育プログラム運営委員会

本プログラムの自己点検・評価にあたっては、「データサイエンス・AI リテラシープログラム」の必修科目である「データサイエンス・AI 入門」（2 単位）において、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度に定めるモデルカリキュラムの全ての項目を網羅しており要件を満たしている。そのため、後述する授業アンケートは本科目に基づく分析及び点検を行っている。

### 1. プログラムの履修・修得状況

本プログラムは、「データサイエンス・AI 入門」（2 単位）と「プログラム指定科目」（2 単位以上）で構成し、2 科目 4 単位の修得をプログラム修了要件としている。

2023 年度については、全学的なデータサイエンス・AI 教育の一層の普及および履修機会の拡充を図るため、「データサイエンス・AI 入門」の開講体制を大幅に見直した。従来は 2 クラス体制であったところを、履修希望者の増加や学部・学年を越えた受講ニーズに対応するため、6 クラスを増設し、計 8 クラス体制へと強化した。これにより、より多くの学生が本授業を履修できる環境を整備した。あわせて「プログラム指定科目」を 30 科目（78 クラス）開講した。

履修者数及び修得者数については、以下のとおりである。

<プログラム全体>

種別	履修者数	修得者数
データサイエンス・AI リテラシープログラム（実人数）	-	431
（参考）データサイエンス・AI 入門（実人数）	1,067	852
（参考）プログラム科目（延べ人数）	4,358	3,672
（参考）プログラム科目（実人数）	3,505	2,951

### 2. 学修成果について

データサイエンス・AI リテラシープログラムの必修科目である「データサイエンス・AI 入門」の授業アンケートの設問「この授業のシラバスに示されている「到達目標（目的・ねらい）」を、どの程度達成できたと思いますか」の回答においては、「90～100%（11.95%）」「80～89%達成（38.94%）」「70～79%達成（35.84%）」と約 9 割の受講生より「70%以上達成できた」と回答を得た。

また、設問「データサイエンス教育プログラムに関連する科目 で学んだ内容は、将来、役に立つと思いますか」の回答においては、「強くそう思う（46.99%）」「そう思う（44.32%）」と 9 割以上の受講生より「将来役に立つ」と回答を得ることができた。

これらのことにより、「データサイエンス・AI 入門」の授業目的の一つである「将来、社会でビッグデータの処理結果に基づく判断が求められた際に、困らずに取り扱うことができる」ことについては一定の水準において達成していると評価できる。

### 3. 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

「データサイエンス・AI 入門」の授業アンケートの設問「この授業の内容は理解できましたか」の回答において、「よく理解できた (12.78%)」「理解できた (61.21%)」と約 8 割の受講生より「理解できた」と回答を得た。

また、「データサイエンス・AI 入門」においては、授業中におけるグループワークや「データを扱う」実習授業のサポートを行う体制としてサマーセッションクラスにて大学院生のティーチングアシスタントを配置し、学生の理解度の把握及び向上を図っている。

### 4. 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

「データサイエンス・AI 入門」の授業アンケートの設問「受講を後輩や他の学生に履修を推奨したいと思いますか」の回答において、「強くそう思う (26.95%)」「そう思う (49.67%)」と約 7 割以上の受講生より「推奨したい」と回答を得た。

### 5. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

令和 5 (2023) 年度は、2022 年度以降の入学生を対象に全学開講科目として「データサイエンス・AI 入門」(必修科目)を開講したほか、教養教育科目、学部専攻科目、学部共通コース科目から 30 科目 (78 クラス) をプログラム科目と指定し開講した。

また、専用の WEB ページを随時更新したほか、履修要項へのプログラム概要の掲載、新入生向けのオリエンテーションで同プログラムの紹介チラシを配布、プログラムの広報用動画を作成するなど、履修者数、履修率の向上にむけた取り組みを展開している。

### 6. 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

データサイエンス・AI リテラシープログラムは、2022 年度入学生以降を対象として開始したことから、プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価を得るまでには至っていないが、今後、キャリアセンターが実施している卒業時進路データ、卒業後 1 年目および卒業後 3 年目を対象とした卒業生アンケートをもとにプログラム修了生の進路先や活躍状況を把握する予定である。

### 7. 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見

「データサイエンス・AI 入門」のサマーセッションクラスでは、オープンデータである [signate.jp](https://signate.jp) における「レンタル自転車の利用者数予測」の実データをもとに、GoogleLooker Studio (BI ツール) を用いて円グラフ、棒グラフ、積み上げ棒グラフ、折れ線グラフ、散布図を作成し、可視化を行った。

また同様に、大規模教室(履修者 100~260 名)の通常クラスでは、日本政府観光局 (JNTO) が公開するインバウンド関連データや、経済産業省「商業統計調査」による小売販売額データなど、複数の公的統計を扱いながら Microsoft Office Excel によるデータ操作・分析を行った。

今後も社会や企業等で取り扱われている実データを用いた実習を行うことを想定しており、実データを提供してくれる企業や団体等との連携・協働の可能性を追求しているところで

ある。さらに、その連携先企業から教育プログラム内容に対する意見等を収集し、改善に活用していく予定である。

## 8. 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること

「データサイエンス・AI 入門」の授業では、文部科学省による「数理・データサイエンス・AI (リテラシーレベル)」のモデルカリキュラムに基づいて、「社会におけるデータ・AI 利活用」(導入)、「データリテラシー」(基礎)、「データ・AI 利活用における留意事項」(心得)について学ぶこととしている。

授業においては、それぞれのクラスにおいて一方向の講義とならないよう、「自動運転」や「ヒトとAIを見分ける実験方法」等をテーマとしたグループワークを実施した。また、「レンタル自転車の利用者数予測」や「食堂アンケートの分析」といった身近な事例を取り上げて、BI ツールや Excel を使用した計算機実習を行うことで、データサイエンスを自分事を感じられる仕掛けを構築した。

これらのことにより、「データサイエンス・AI 入門」の授業アンケートの設問「データサイエンス教育プログラムに関連する科目を通じて「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を感じましたか」の回答において、「強くそう思う (21.16%)」「そう思う (57.24%)」と約8割の受講生より「そう思う」と回答を得たことより、「データサイエンス・AI 入門」を通して、「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を理解してもらうことができた。

## 9. 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること

本学では、授業の内容・水準を維持・向上しつつ、より分かりやすい授業を実現するため、シラバスの質を重視している。シラバスは「各講義科目の内容や講義計画を明示し、学生の主体的な学びを促す重要なツール」である(『龍谷大学シラバスの手引き』より)。

このため、各教員が作成したシラバスについては、データサイエンス教育プログラム運営委員会による組織的なチェックを行い、記載内容の適切性や教育理念との整合性を確認している。こうした取り組みにより、シラバスの質を継続的に高め、学生にとって理解しやすく、学びを主体的に進められる授業づくりを推進している。

令和5(2023)年度の「データサイエンス・AI 入門」のサマーセッションクラスは、全学部の学生が受講できるようキャンパス間をオンラインでつないだうえで、グループワークを取り入れた学舎間連携授業として実施した。

大規模教室におけるクラスについては、座学と演習を組み合わせた BYOD (Bring Your Own Device) 型授業を展開した。座学部分では各回に Quiz (小テスト) を実施し、学生の理解度を随時把握し、フィードバックを行った。中間まとめとして大規模教室でグループディスカッションを実施しており、演習部分では学生自身のノート PC を用い、Excel によるデータ分析に各自取り組んだ。操作に不慣れな学生も多くみられるため、スチューデントアシスタントを配置し、また解説動画を作成・配信し、授業外学修も支援している。各授業において、到達目標を下げることなく、一定の科目合格率を維持するよう努めた。

添付資料：

- ・プログラムの履修・修得状況(詳細)
- ・授業アンケート集計表

以上

プログラム科目 一覧 (30 科目)

	授業名	単位
1	データサイエンス・AI入門	2
2	経営データの分析 A	2
3	経営データの分析 B	2
4	社会調査情報処理実習A	1
5	情報処理実習 I A	1
6	情報処理実習 I B	1
7	情報処理実習 II A	1
8	情報処理実習 II B	1
9	社会統計学 I	2
10	社会統計学 II	2
11	量的調査法	2
12	統計学入門	2
13	社会統計学のすすめ	2
14	生活の中の統計技術	2
15	政策学のための統計・数学	2
16	特別講義 R	2
17	確率・統計入門	2
18	スポーツ統計学	2
19	(公) 心理学実験 A	1
20	(公) 心理学実験 B	1
21	心理学研究法 A	2
22	心理学研究法 B	2
23	心理学統計法 A	2
24	心理学統計法 B	2
25	生物統計学	2
26	統計処理実習	2
27	栄養疫学	2
28	I T リテラシー A	2
29	I T リテラシー B	2
30	社会調査法	2

## プログラムの履修・修得状況（詳細）

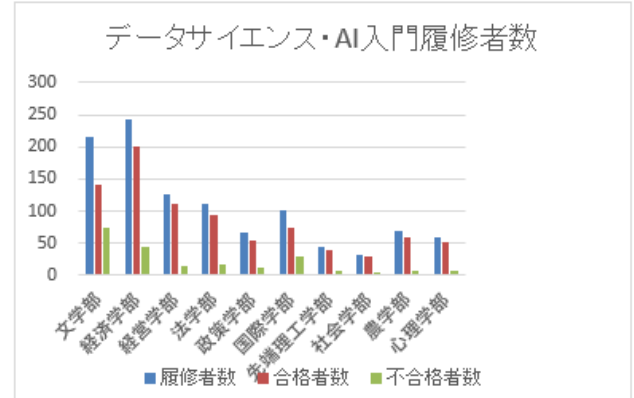
「データサイエンス・AIリテラシープログラム」履修・修得状況資料

<データサイエンス・AI入門>

【2023年度】開講：7クラス(前期3、夏期集中1、後期3)(単位：人<実人数>)

学部	履修者数	合格者数	不合格者数	合格率
文学部	216	141	75	65.3%
経済学部	243	200	43	82.3%
経営学部	125	111	14	88.8%
法学部	111	93	18	83.8%
政策学部	66	55	11	83.3%
国際学部	102	74	28	72.5%
先端理工学部	45	38	7	84.4%
社会学部	32	28	4	87.5%
農学部	68	60	8	88.2%
心理学部	59	52	7	88.1%
合計	1,067	852	215	79.9%

(単位：人<実人数>)



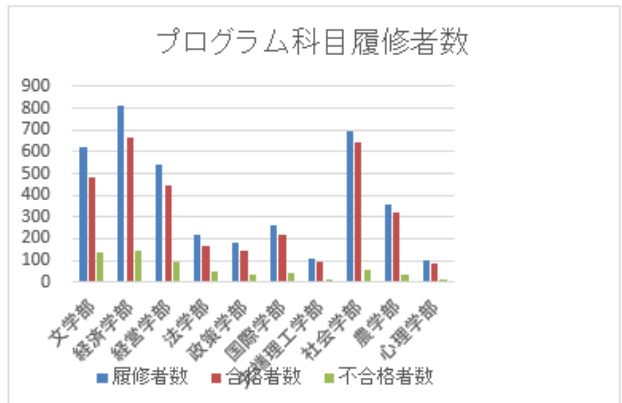
<プログラム科目>※「プログラム科目」を1科目でも履修していた者を抽出

【2023年度】

(単位：人<実人数>)

学部	履修者数	合格者数	不合格者数	合格率
文学部	619	481	138	77.7%
経済学部	809	666	143	82.3%
経営学部	537	446	91	83.1%
法学部	217	164	53	75.6%
政策学部	183	148	35	80.9%
国際学部	259	217	42	83.8%
先端理工学部	108	97	11	89.8%
社会学部	698	640	58	91.7%
農学部	358	322	36	89.9%
心理学部	100	87	13	87.0%
合計	3,888	3,268	620	84.1%

(単位：人<実人数>)

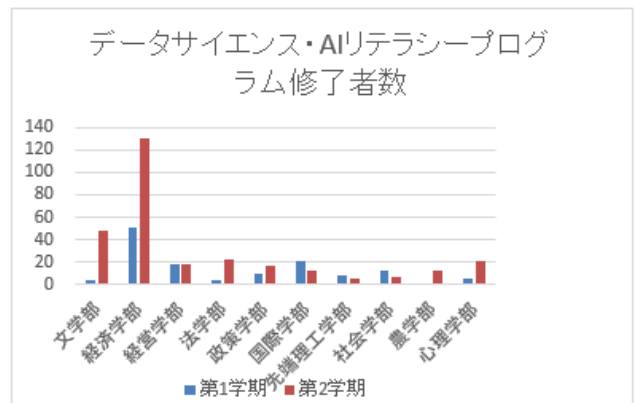


<データサイエンス・AIリテラシープログラム修了者数>

【2023年度】

(単位：人<実人数>)

学部	第1学期	第2学期	合計
文学部	4	48	52
経済学部	51	130	181
経営学部	18	18	36
法学部	4	23	27
政策学部	10	17	27
国際学部	21	13	34
先端理工学部	8	5	13
社会学部	13	7	20
農学部	1	13	14
心理学部	6	21	27
合計	136	295	431



## 2023 年度「データサイエンス・AI リテラシープログラム

### (科目名：データサイエンス AI・入門)」アンケート集計表

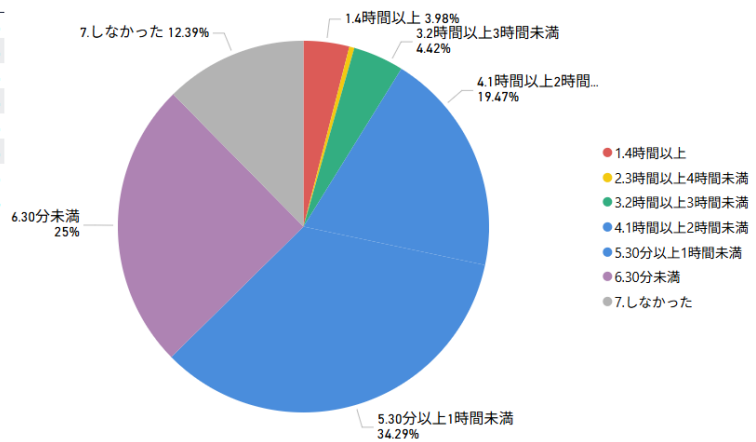
実施日：2023 年

受講者数：1,067 名

アンケート回答者数：452 名（回収率 42.4%）

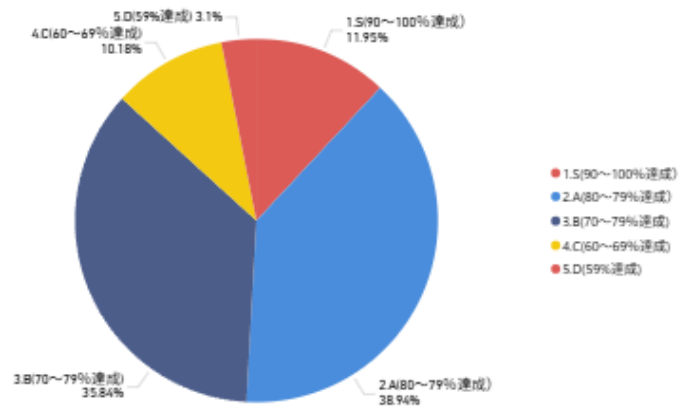
# 回答1.1 1回の授業に対して、平均してどのくらい授業外学習（自主学習・課題学習など）を行いましたか。

回答値	カウント	割合
1.4時間以上	18	3.98%
2.3時間以上4時間未満	2	0.44%
3.2時間以上3時間未満	20	4.42%
4.1時間以上2時間未満	88	19.47%
5.30分以上1時間未満	155	34.29%
6.30分未満	113	25.00%
7.しなかった	56	12.39%
合計	452	100.00%



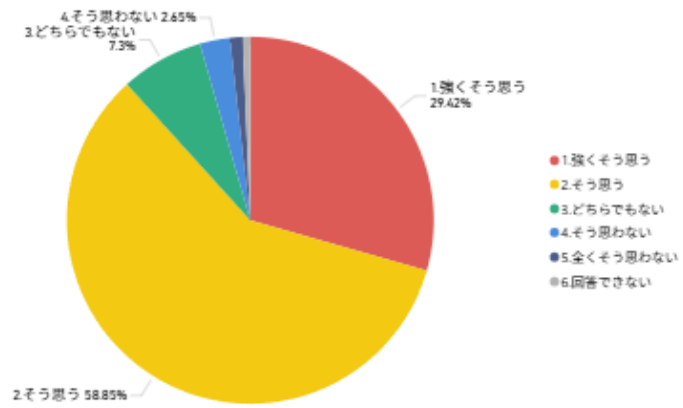
# 回答1.2 この授業のシラバスに示されている「到達目標（目的・ねらい）」を、どの程度達成できたと思いますか。

回答値	カウント	割合
1.S(90～100%達成)	54	11.95%
2.A(80～79%達成)	176	38.94%
3.B(70～79%達成)	162	35.84%
4.C(60～69%達成)	46	10.18%
5.D(59%達成)	14	3.10%
合計	452	100.00%



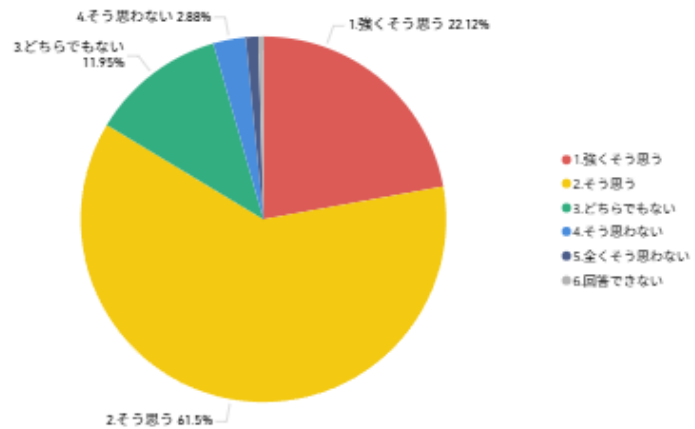
# 回答1.3 この授業はシラバスにそって計画的にすすめられていましたか。

回答値	カウント	割合
1.強く思う	133	29.42%
2.そう思う	266	58.85%
3.どちらでもない	33	7.30%
4.そう思わない	12	2.65%
5.全く思わない	5	1.11%
6.回答できない	3	0.66%
合計	452	100.00%



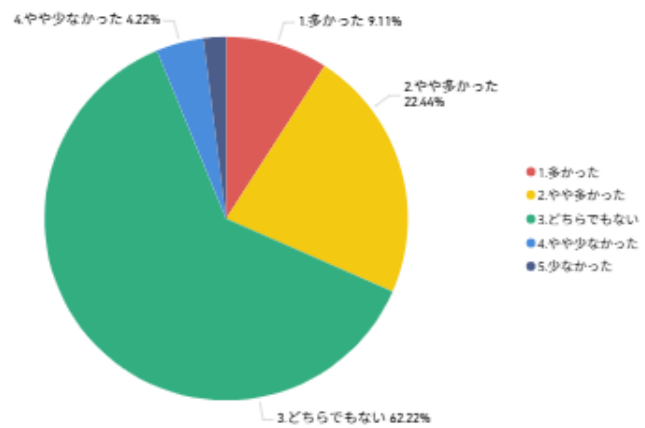
# 回答1.4 この授業に対して、意欲的に取り組めたと思いますか。

回答値	カウント	割合
1.強く思う	100	22.12%
2.そう思う	278	61.50%
3.どちらでもない	54	11.95%
4.そう思わない	13	2.88%
5.全く思わない	5	1.11%
6.回答できない	2	0.44%
合計	452	100.00%



# 回答1.5 この授業の課題の量はどのように感じましたか。

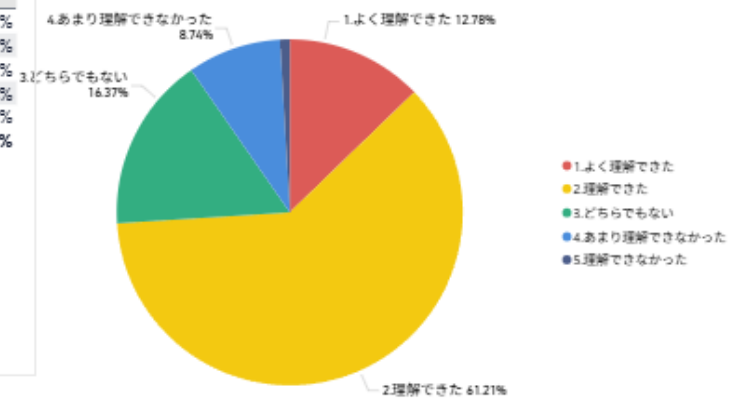
回答値	カウント	割合
1.多かった	41	9.11%
2.やや多かった	101	22.44%
3.どちらでもない	280	62.22%
4.やや少なかった	19	4.22%
5.少なかった	9	2.00%
合計	450	100.00%



# 回答1.7 この授業の内容は理解できましたか？



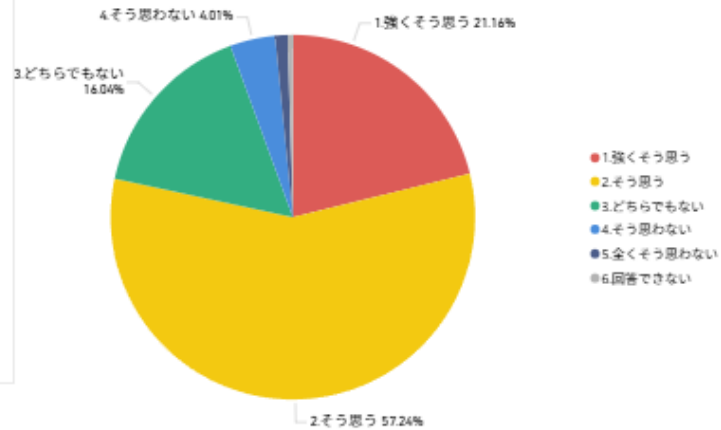
回答値	カウント	割合
1.よく理解できた	57	12.78%
2.理解できた	273	61.21%
3.どちらでもない	73	16.37%
4.あまり理解できなかった	39	8.74%
5.理解できなかった	4	0.90%
合計	446	100.00%



# 回答1.8 データサイエンス教育プログラムに関連する科目を通じて「学楽しさ」や「学ぶことの意味」を感じました...



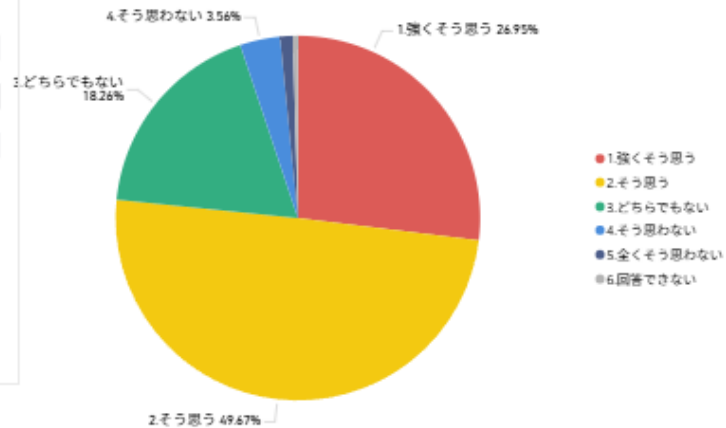
回答値	カウント	割合
1.強くそう思う	95	21.16%
2.そう思う	257	57.24%
3.どちらでもない	72	16.04%
4.そう思わない	18	4.01%
5.全くそう思わない	5	1.11%
6.回答できない	2	0.45%
合計	449	100.00%



# 回答1.9 データサイエンス教育プログラムに関連する科目の受講を後輩や他の学生に履修を推奨したいと思えますか？

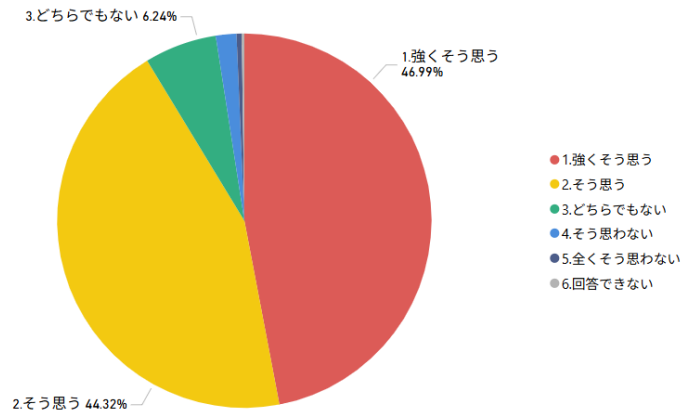


回答値	カウント	割合
1.強くそう思う	121	26.95%
2.そう思う	223	49.67%
3.どちらでもない	82	18.26%
4.そう思わない	16	3.56%
5.全くそう思わない	5	1.11%
6.回答できない	2	0.45%
合計	449	100.00%



# 回答1.10 データサイエンス教育プログラムに関連する科目で学んだ内容は、将来、役に立つと思いますか？

回答値	カウント	割合
1.強くそう思う	211	46.99%
2.そう思う	199	44.32%
3.どちらでもない	28	6.24%
4.そう思わない	8	1.78%
5.全くそう思わない	2	0.45%
6.回答できない	1	0.22%
合計	449	100.00%



### ○自由記述

# 回答 1.6 この授業に対する取り組みを振り返り、記入してください。(自由記述)
エクセルの使い方がよくわかっていなかったので学べてよかった。 授業のスライドも見ていてとても分かりやすかった。
知らない単語や操作方法が毎回あったため、復習を行った。
Excel を用いた将来性の高いパソコンの使用方法を最近のものまで把握することが出来た講義だったと感じた。
先生の話すスピードが早すぎるせいで作業が難しかったです。
実生活にも行かせられるような Excel の使い方を学ぶことができてとても良かった。
AI や情報の扱い方についてよくわかった。
データについて操作方法や倫理的な扱い方まで幅広いことを学べた。
序盤の講義では、基礎的な AI やデータサイエンスについての知識をつけることができ、段々と実践的な活用ができるようになっていた。
データサイエンスに関して今まで知らなかったことが知れてよかった。
コンピューターの仕組みなどをよく知ることが出来た
エクセルが苦手なので苦戦した
小テストに困らないようしっかり講義を聞いた
コンピューターの危険性や使い方がよく分かった
社会ではネットやパソコンを使用しての資料の作成などが増えるため、少しでもその知識を増やしていきたいと思いこの講義を受けたが、期待以上にいろいろなことを学ぶことができてとても楽しかったので、この授業には意欲的に取り組むことができた。
グループでディスカッションするのがとても楽しかった。話したことのない周りの人はこんな考えを持っていたのかと新しい発見になった。
将来エクセルを利用することが増えるため、どこどこを比較することで傾向がわかるかといった使い方や用語について学ぶことができた。

専門用語が難しかった。
入学して3ヶ月が経ち、高校とは全く違うシステムで行う授業形式に最初は戸惑いましたが、授業の予習、復習を最も大事にしました。分からない箇所も多くあったので周りの人と協力して課題に取り組みました。
パソコンの扱い方を学ぶことが出来ました。
Excelをよく使った。
毎回授業に出席し、意欲的に取り組めたと思う。
パソコンの扱い方に慣れることができた。
難しい専門用語や難しい操作がたくさんあってその都度調べて課題に取り組んでいました。そのおかげで「自分でやる」ということができたのでより理解を促進することができました。
課題の量と課題の難しさは優しく、初心者である私にとって理解しやすいものだったので最後まで続けることができたと思います。
楽しんで取りくめました。
Excelの使い方を覚えました
難しかったです。
主にEXCELを用いたデータ分析ができるように試行錯誤した。
毎回の講義で出される課題を授業をしっかりと聞いて出すことができた。
なるべく課題はすぐに終わらせるようにしました。
毎時間提出する課題があったためその課題をしたのとついでにその日にした講義の復習をしていました。
エクセルの使い方がわかった
特になし
少し意欲的に取り組めていなかった
AIの特性や、情報リテラシー、エクセルの活用技術について学び、習得することに意欲的に取り組むことができた。
知らない事が多かったが動画を見てなんとかついていけた。
授業内容についてメモを取ったり、課題を終了させたりし、積極的に授業に取り組み、データの取り扱いなどについて学べた。
繰り返し動画を見て正確な分析を心掛けた。
Excelの使い方が難しかったが頑張りました
課題に取り組んだ
他の授業よりレポートなど課題がしっかりしていたので意識的に授業を聞くことができた。
情報AIという新しい教科の勉強ができたので、とても面白かったし、これからもパソコンの勉強を自分なりに進めていきたいと思った。
授業には意欲的にグループワークに貢献するなどして取り組めた
授業外の動画を見る時間を作れたのがとてもよかったと思う。
班内で交流し、さまざまな意見を出し合うことができた

AIの授業だと大まかに考えていたけれど、受講してみると身近なことについて議論したりできたのでわかりやすかったです。
グループワークにおいて、他者との対話を通して双方の考える意見を述べ合うことでのみ得られる考えを知ることができた。
AIが社会でどのように活用され、法整備はどのようになされるのかを他の受講生と話すことができ興味深かったです。
二日目の課題(計算機実習)の課題に時間がかかった。時間をかけた分、理解はできた。
時間に余裕を持ち行動すること
積極的な発言ができた。
AIの発展に対するメリットやデメリットに関して、AIの仕組みなど、根本的な部分から学び、考える事ができた。また、グラフづくりのスキルやデータの取り扱いのスキルも学べた。
時間に余裕を持ち行動すること
積極的な発言ができた。
討論をする機会があまりなく良い経験となった
視聴すべき動画が多く、小テストも多く感じましたが、細かく丁寧に学習することで深く理解することができました。
特になし
ディスカッション形式だったのが他人の意見を知れて良かった
他の学年の人と関わる機会があったので良かったと思いました。
ギリギリに課題に取り組んだため、もう少し早めから取り組めばよかったなと思っている。
今後、益々注目されるデータサイエンス・AIについて学ぶことが出来たので良かったと思う。
初対面の人と話したり、意見を発表するのが苦手だったんですが、少しでも克服しようこの講義をとり、意見交換をするうちに、少しだけ人と接するのが楽しくなってきた。

# 回答 1.11 この授業を通して難しかった点を、記入してください。
エクセルの操作方法が慣れていないこともあり、どのような時にどのような操作をするのか深く、具体的に理解することが難しかった。
解説動画を見ないと課題があまりできい点
Excelの作業は説明がなければ出来ないほどの難しさだった。
回帰分析
元々数学的な内容が得意ではなかったので、エクセルでのデータ分析の内容が難しく感じた。前半の内容を短縮してエクセルの解説に時間をかけてほしい。
小テストの用語の問題が少し難しかった。
AIに学習をさせる授業でコマンドがどのような働きをしているのかが、わからなかった。
エクセルでの操作で何が分かるかまで理解すること。
最終課題でも用いたt検定がとても難しかった。
エクセルを使って何が分かるのかを理解するのが難しかった。

繰り返し可能な小テスト
エクセルの扱い
Excelでのグラフや表の作り方
単元によっては専門用語が多く登場するので、用語と意味を一致させるのが難しい時があった。
たまたま課題が難しい時があった。
Excelはほとんど使ったことがなかったので、課題に苦勞した。
excelなどをがっつり使うのが初めてだったので難しかった。
Excelを使いこなすこと。
データの処理を解説なしに自分だけで行うとなると難しいと思った。
EXCELの課題。
P値や重回帰分析などの難しい用語の理解
何のためにその値を出すのか、どこでこの式を使うのかの理解や用語と能力を使い分ける点が難しかった。
仮説検定が難しかったです。
理解ににくいです
量が多いと感じました。
EXCELを用いた重回帰分析
パソコンを主に使う授業なので、少し難しかった。
内容が抽象的なものもあり、理解するのに苦勞しました。
t検定についてが難しく感じた。
何を分析すればいいのか理解するのが難しかった
パソコンの使い方
内容を覚えること。
AIについて、初対面の人たちとグループで話し合うのは、色々な意見が聞けて楽しいと感じたものの、難しくも感じられた。
用語や機能がわからない事が多すぎた。
教師あり学習・教師なし学習・強化学習の分類や、AI問題について、数値データの分析等に使用される単語の意味などを覚えることが難しかった。
授業で数式が出てきたり、データの分析における考察をしたりすることが難しかった。
Excelの複雑な作業が難しかった
自分の苦手な分野だったのでスプレッドシートなどの操作に最初は難しく感じた。
2回目の授業でやった内容
関数のところが難しかった。
自動運転という良し悪しの区別のつけがたいテーマについての議論が難しかった。
グラフ作成などpc面の技術を全然知らないので時間がかかった。
完全AIか一部AIの利用可によって全く内容も意見も変わってくる。

グラフを作るのに少し時間がかかって苦労した。
パソコンを使い慣れているとは言えないので、グラフ作成が難しかった。
数学が絡んでくる点がなかなか難しく、何度も動画を見返した。
これからのAIのメリットデメリットにおいてどちらにも入りうる問題がたくさん出てきてその境を考えたりののが難しかったです。
2回目の講義のレンタルサイクルの考察が難しかったです。
自動運転について考えるときに、「センサーは何に反応して車を停止させるのか」といったようなことを話すのが難しかったです。
計算機実習。普段使わないツールを使ったから。
用語等
グラフの作成
専門的な言葉が出てきたとき理解するのが難しかった
知らない単語が出てきた時に理解するのに時間がかかった。
専門分野の深いところに携わる点。 専門的で情報量多いものについては理解が追い付かなかった。
Google Looker Studio の使い方が分かりにくかった
事前の映像授業の内容が難しいと感じました。
データの扱い方や今後私たちはどのようにAIと向き合っていくか考えるきっかけになった
基礎bのデータを用いてグラフを作るという事に少し難しさを感じたが、完成した時の達成感があった。
無人コンビニや自動運転など、まだ世の中に浸透しきっていないものについての意見交換だったので、自分が実際に体験していないものについて考えることは難しかった。

# 回答 1.12 この授業を受講した上での総合的な感想を、記入してください。(自由記述)
情報社会となっていくこれからの日本に対応するためにエクセルを学べたのはよかった
実際にエクセルを用いたグラフ作りなどをする機会が個人的にあったため、非常に役に立った。また、このような経験やスキルは将来必ずと言っていいほど必要とされると思うため、この授業を取っていて良かったと感じた。
講義内容は、基礎知識がないと理解するのが難しかったが、今後役に立つ講義であると感じた。
将来使えることをまなばしてもらいありがたかった
将来的にすごく役に立つものだと感じた。
細かい作業がいやでした。
全体的に今後の就職や生活において役に立つ内容ばかりで面白かった。
この授業をとってExcelの使い方を学ぶことができてとても満足している。
これからの情報社会で役に立つと思うような授業だと思った。
エクセルの知識が今までよりかなり大きくなりました。
広く実践的な能力を身に付けることができた。

これから必要な内容だと思ったので受講してよかったと思います。
将来に役立つことが出来るようなエクセルの使い方について知ることができ、とてもよかった。
データサイエンスを深く学びたいと感じた
情報社会について知れた
ネットの危険性について勉強になった
将来多く使用することになるであろう実用的な知識を得ることができた。
卒業論文を書く時や社会に出たときにとっても役に立つ内容だったと思う。データの処理だけではなく、最近注目されている AI の話題も取り上げていただき楽しかったです。
エクセルの機能について知り、今後、日常的に利用していきたい。
最近ニュースなどで AI についてのことをよく聞くけど、この講義を受けてさらに理解が深まったと思う。
もっとパソコンを扱えるようになりたいと思った。
Excel を使えるようになるのは、これから使えることなので、学べてよかった。
データの処理の仕方や AI についての基礎的なことが学べたと思うので良かったと思います。
受講する前より、パソコンの使い方がわかった。
これからの社会で必要な知識だったり、将来役に立つ知識を学べたので良かったです。データサイエンス・AI の知識のこれからの必要性を十分に理解できました。
高校のときあまり詳しく情報を習っていなかったので、今回の機会に学ぶことができて良かった。
内容にとっても満足しています。
Excel の使い方を覚えました
データサイエンスを学ぶ機会ができて嬉しいです。
難しいが、技能が身に着いたと感じた。
データ処理の仕方などを知ることができ、今後に活かせそうだ。
最終課題に取り組む中で自分自身で考え、少しはエクセルが使えるようになったのではないかと思います。
別の講義であまり理解できていなかったことをもう一度学ぶことができたのでよかった。
普段使わないエクセルを使えて知識も取り入れられたと思う。
わかりやすかったのでかなり助かった。
特に AI についてぼんやりとした認識しかなかった中に、AI の特性を学んだり、自分たちで AI について色々なことを考えられる講義で、楽しいものだと感じられた。
コンピュータでこれから使える機能も学ぶ事が出来た。
データ分析の方法、AI の活用事例や活用方法、危険性などについて学ぶことができ、今後の生活で役立つことを多く知ることができ、受講して良かったと感じた。
エクセルの基礎的な分析から学ぶことが出来たので今後の学びに良いつながりがあると感じた。データ社会に対する基礎的なことも知ることが出来て良かった。
エクセルが難しかったが、解説動画などを見て理解するように頑張りました
技術と知識が身についた

ある程度のスプレッドシートの操作方法などを学ぶことができた。
受けてよかった
将来で必ず必要になってきそうなスキルが多く出てきたので役に立ったと思う
エクセルから自動運転までさまざまなジャンルの知識が得られたと思う
グループワーク主体での授業なので普段よりも主体的にグループの人と話し合うことができたように思う。
違う学部の人や年が違う普段関わらない人と意見交換ができて面白かった。
難しく、理解したりない部分もあったが、より AI やパソコンに興味を持てたし、将来役に立ちそうなことを多く学べたので、この講義を受けてよかったです。
沢山のことを学べてとても面白かった
今まで知った気になっていたこと、ほんとに知らなかったことが何なのか把握することができ、知らないことをそのままにしておくのはやめようと思えた。
AI など私たちの身近なものでこれから切っても切れない関係にあるものの、全くと言っていいほど普段から AI について学ぶ機会がなかったので、このような機会に学べてよかったです。
AI は案外身近になってきているんだなど実感しました。AI 化が進むことで人手不足を解消できることもあれば、逆に人の仕事を奪うこともある。両方の均衡を保つことが難しいなと感じました。
全3回の講義を通して、確実に答えがある問題というものではないので、正しいのか否かを考察することを他者との意見交換を通してできたのでとても充実した時間だったと思う。
他の受講生と意見交換ができて楽しかったです。
スクーリング期間より事前学習動画を見る時間のほうが大変だった。
これからの社会で欠かせないものだと思う。
ここで学んだすべてにおいて自分のためになることだと感じた
文系理系を問わず、将来は誰もがネットリテラシーや AI 技術、パソコン作業などに関する知識を求められるだろうから、学生のうちに基礎的な範囲だけでもそういった知識を身に着けることができたことは非常に喜ばしく思う。
講義自体は割と簡単な印象を受けた、
課題が多かったですが、自分のペースで受けることができ、将来のために役立つことが多かったので受講して良かったなと思いました。
レポートの指示が少し曖昧であったことに違和感を感じた。
データサイエンスに関しての知識が向上したので良かった。
事前に学習をしたうえで対面授業なので対面授業の回数が少なくても理解できるのがよかったと思いました。
データサイエンスの授業を受講する前は理解できるか不安だったが、映像や先生の講義が分かりやすかったのでだいたい理解することができた。受講してよかったと思う。
今後、重要視されるデータサイエンスと AI について学ぶことが出来たので良かった。 また、単に受け身な授業でなく仲間と考えたり、実際に計算機を用いて実習をするなど今後生きるまあナビが出来たので良かった。
この先社会に出回るであろう技術について、率先してグループワークを行ったので、今まであまり興味がなかったデータサイエンスについてより詳しく知れた。

以上